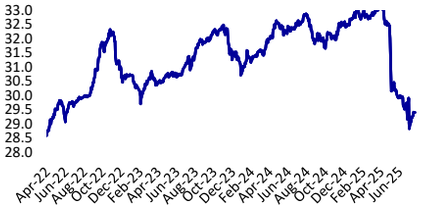
Mizuho Weekly Market Report

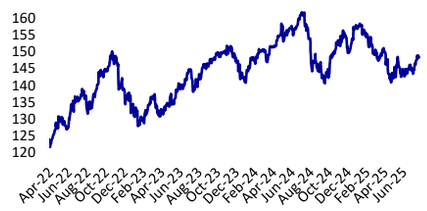
2025/7/21
みずほ銀行東アジア資金部台北室

市場動向

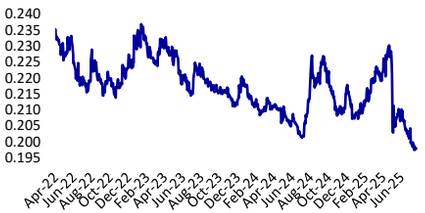
■USD/TWD



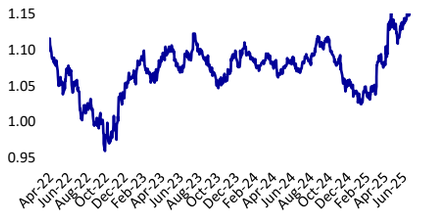
■USD/JPY



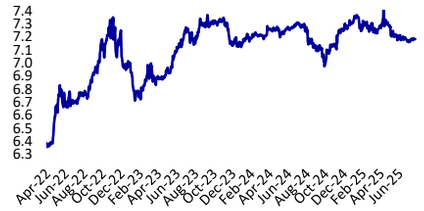
■JPY/TWD



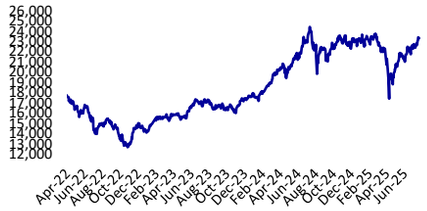
■EUR/USD



■USD/CNH

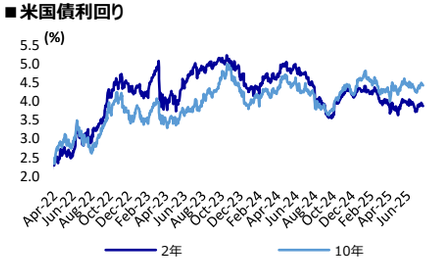


■台湾加権指数



■台湾國債利回り

■米国債利回り



先週の市場動向

■USD/TWD

7/14、29.240でオープン後、外資や国内投資家による海外送金フローが入り、終始ドル買い優勢の展開。7/15、先日と引き続き国内投資家の海外送金フローが入り、一時29.382まで上昇。しかし、外資による台湾株買いが強まり、ドル売り優勢の展開。7/16、じり高の展開。輸出企業によるドル売りはあるものの、投資家の海外送金フローがやや優勢となり、ドル買いが先行。7/17、輸出企業のドル売りと外資による資金流入が拮抗し、概ね29.40台前半で推移。7/18、半導体関連企業の好調な業績を受け、ドルは一時29.305まで反落。最終的には前週比0.69%ドル高台湾ドル安の29.406でクローズ。週間の外国人投資家の株式買い越し額は611.3億台湾ドル。

■USD/JPY

7/14、147.36でオープン後、対EU30%の関税を懸念し、リスクオフで円買い優勢となったが、その後はレンジ相場となり、欧米時間では米金利の高止まりで147円台後半まで買われた。7/15、欧米時間に入り、米コアCPIが市場予想を下回ったものの、米金利の上昇に伴いドル高に転じ、一時4月3日以来の高水準となる149円前後まで上昇。7/16、パウエル議長解任の報道が流れ、ドルは一時147円前後まで急落。しかし、トランプ大統領の否定発言で148円前後まで買い戻され変動幅の大きい展開。7/17、一時148円台後半に上昇し、前日のFRB議長の退任懸念で下落する前の水準にまで回復した後、欧米時間では、予想を上回った米経済指標を受け、149円を超えて今週の高値を試したが、上値はやや重い展開となった。7/18、週末の参議院選を控え、148円台後半を中心に動意薄の展開。最終的には前週比0.96%ドル高円安の148.84でクローズ。

■USD/TWD　**予測レンジ：28.900-29.500**

今週のUSD/TWDはレンジ推移となる予想。台湾の上場企業は最近、現金配当を集中的に実施しており、海外への配当金も次々と送金され、市場資金の動きが活発化。しかし、台湾の相互関税の結果はまだ公表されておらず、潜在的な不確実性により投資家は依然として慎重になっており、為替レートが短期的にレンジ調整から抜け出すことは困難。USD/TWDはレンジ推移と予想。

■USD/JPY　**予測レンジ：147.00-150.00**

今週のUSD/JPYは揉み合い推移を見込む。日本の与党連合は参議院で過半数議席を失い、石破茂政権はより脆弱になった。国内政策の不確実性により米国との関税交渉はより複雑化し、円の短期的な変動が高まる可能性。
USD/JPYは引き続き上値重い展開を予想。

今週の予想

7/21 (MON)	
7/22 (TUE)	台湾6月失業率/輸出受注
7/23 (WED)	台湾6月工業生産
7/24 (THU)	日7月製造業PMI・ECB、米6月新築住宅販売件数
7/25 (FRI)	日7月東京都区CPI、英6月小売業売上高、米6月耐久財受注

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようにお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。